

2010年度 JICA 雛祭り 着物体験会

～実行委員長のつぶやき～

3月弥生の一步手前の土曜日、2月26日はお日様の優しい温かさと早春の光に溢れた一日。なんかいいことがありそうなウキウキ気分でI I N会員の皆さんが集まってきたのは12時半。いよいよ始まる心地よい緊張感と、「うまいく！」という私の根拠のない自信で幕は開きました。(一時間も早くから集まってくださったみなさん、ありがとうございます！)

<受付>

受付係がバタバタと走り回りながら誰彼となく声をかけて誘っています。さては、突然のキャンセルが発生したのでしょうか？おっと、5人も応募者が外出してしまったのですね。その上、アルメニアの女性お二人も連絡が取れない？これは大変と、今度は勧誘係がお得意のスペイン語を駆使してラテン系の方？を誘っています。もう一人も international な笑顔で食事中の JICA の方たちに説明しています。受付では、受付を済ませたシリアの男性に強引に Tea Time 後のパフォーマンスをお願いしていますよ。彼の答えは YES しか許されない？女性二人は冷静に受付業務をこなしていますが、なかなか来ない参加者に少々お暇。さて、今日の雛祭りは何人の JICA 参加者を確保できるのでしょうか?! (答え：結局22名、お見事です)



<着付>



いつも中心になってくださる着付の先生と統制された10人の着付組は、I I Nが誇る着付師五人衆とベテラン&フレッシュのお手伝いの五人。今回のモデルは初着物体験とか。格別の体験でしたね。着物渡しは一般参加のお二人。髪の毛をまとめてあげると腕まくりして待つ会員や和室の総括を任された責任重大な会員も。和室の廊下で折り紙担当者も JICA 参加者がなかなか来ないと首を長くして待っています。そこへ参加者がどっと押し寄せて、男女混ざっての着付が始まりました。いったんゴングが鳴ると、もう止まらない。着付けてもらう JICA 参加者も着付が終わって写真を撮りまくっている参加者も髪型を可愛く上げてもらっている参加者も、嬉しくてウレシク笑顔が弾けています。この喜びの表情の変化が、今日の日本文化の入り口です。侍になりお姫様になって JICA 参加者全員が胸を張って和室を出て来たのは、小一時間後。和室に残って最後まで残りの参加者を待ってくださっていた着付の皆さん、お疲れさまでした。お蔭で雛祭りの準備は整いました。

<雛祭り開始>

今回の司会はなんと雛祭り初参加の会員。入会一年未満での大役です。大胆過ぎる抜擢をした私の心配は全くの余計なお世話。堂々と時に軽やかに流れる英語が綺麗にマイクに乗っています。なかなかやるな・・・ちょっと嫉妬？するくらい、見事な入りです。始まる直前までつきっきりの先輩のお陰でしょうか。

副委員長の挨拶に続いて、着付けの demonstration へ。



<着付披露>



今回は会場係のとっさのアイデアで、造りつけのソファを利用して JICA 参加者の数だけ椅子を用意。皆さんが落ち着いたところで skillful なお二人の見事な着付が始まり、立派な紫の振袖をモデルが素敵に着こなしました。あの帯結びは複雑そうで難しそうで、とってもかわいかった！英語での説明の「振り袖のくだり」ではいつもの笑いを取って…あれれれ、今日は笑いが少ない。今日の JICA

の皆さん、英語は大丈夫？大前提が不安になった一瞬。でも説得力は言葉だけではないようで、皆さんの大拍手を得て、着付披露と着物のファッションショーが終わりました。

<写真撮影>

たくさんのカメラを預かって撮る集合写真も今回は JICA の皆さんの座っている場所が変わらないので楽勝。混乱なくスムーズに。全体写真を「はい、こちら！（英語で）」と女性の撮影係が勇ましく椅子に乗っての撮影。写真の出来上がりが楽しみです。そしてそのまま、書道の demonstration へ。



<書道披露>

今回は書道の先生が、漢字の説明・書体の変遷とその説明などをご自身の英語で try。大きく書かれた自作の

資料を次々と駆使しての説明。流石に先生の貫録。着々と進んで、後ろに掛けたお軸の説明に。色々な書体で書かれた多様な内容の掛け軸が用意されました。その中に 93 歳のお母様の凛とした俳句もあり、一同拍手。この時の説明を私がさせてもらい、必死に JICA の皆さんを乗せていこうとするのですが、なんだか雰囲気固い。つい、一歩前、二歩前へと皆さんの前まで行くとやっと反応が返ってくるようになって……。きっと覚えて帰ってもらえたのは、「愛」の意味とその読み方だけ？なぜ「愛」かと言えば、先生からのプレゼントの色紙（しきし）

の字がそれなのです。そのあとの書道の実演では、楷書、行書、草書で「夢」「春」「愛」を披露。すると写真を撮ろうと、前に出てくる、出てくる……。自分の思いに正直な JICA の方々でした。



<Tea Time>



お茶係を中心に美味しいお茶と綺麗な和菓子が用意されていました。食べ物を前にすると人は興奮する？みんな静かに…と念じる中、会員の和菓子の説明。皆さん、今回は聞こえましたよね。さてさて、グループごとのおしゃべり time！お待ちかねの時間が参加者みんなの前にやってきて、ますます賑やかな会場に。

30分後、再登場の司会から始まり、お雛様の説明に。雛あられのことや雛段飾りのこと etc. それに続いて歌のお姉さん？登場。その柔らかな美声で♪「きょうはたのしいひなまつり」♪を指導してくれました。女声でも男声でも歌える音の高さのキーはさすがが専門家。さあ次はみんなのお楽しみの performance time!



歌のお姉さんの笑顔につられて各国の芸達者が次々と登場。シリアの恋の歌→ナイジェリアの踊り→中国の歌→メキシコの歌→スリランカの歌。伴奏がなくてもみんなの前で歌うことができるって、凄いことです。自国を紹介したいという熱き思いが恥ずかしさを上回るのかな。そして特筆すべきことが一つありました。メキシコの歌を歌ってくださった男性ブロカさんは、七夕・Home Visit に引き続き、今日は三回目の IIN 行事参加。その彼が歌の前にこんなことを伝えてくれました。「IIN の行事に何度も参加して皆さんの親切さとボランティア精神に感動しました。IIN は素晴らしい団体です。これからもこのような活動を是非続けてください。…」んんん〜、IIN 会員みんなシビレましたね。これからも頑張るぞ！オ〜！そして最後は日本の歌をプレゼント。♪「花」♪の二部合唱を気持ちよ〜く歌っていると、あちらもこちらも女学生と男子学生になっちゃった。

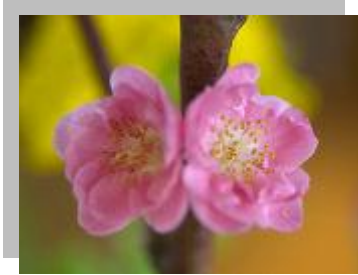


<おしまい>

午後4時をすぎて、そろそろ最後の時間に。実行委員長の挨拶の後に司会者の雛祭りにまつわるお話で締めくくり。着付から始まった盛り沢山の3時間が終わりました。長かったような、あっという間のような……。

JICAの皆さんの心に何か響くものを残せたでしょうか。今日撮った写真は消されることなく帰国まで残るでしょうか。日本文化の一面を感じてもらったでしょうか。もっと我々にできることはなかったでしょうか。疑問→自問→反省。

でも、間違いなく IIN 会員みんなが誠心誠意の対応でした。準備も、できる限り詰めました。最後は JICA の皆さんも会員も参加者みんなが笑顔でした。・・・「うまくいった！」重ねた時間の確かさという根拠をもって、今はそう言えます。今年も雛祭りは成功です。皆さん本当にお疲れ様でした。



(文責：実行委員長)